

# ヤスハラケミカルと社会

ヤスハラケミカルでは、お客様をはじめ、従業員や株主、お取引先、事業のある地域の住民など、社会との共生を大切に考えて事業活動を行っています。ここでは、社会と企業との持続的発展をめざして取り組んでいるヤスハラケミカルの社会活動をご報告します。

## 安全と品質管理への取り組み

### 社内安全表彰

ヤスハラケミカルでは、職場ごとに労働災害無災害日数の目標を第1種から第10種まで定め、その目標日数に到達した場合、安全表彰を行っています。2007年度中に表彰を受けた職場は表のとおりです。

職場名	達成日	種別
川内工場	2007年 7月 1日	第2種
高木工場製造課	2007年 7月 7日	第2種
研究部	2007年 7月26日	第1種
鶴飼工場製造2課	2007年 8月 4日	第4種
総領工場	2007年10月 1日	第4種
本社事務所	2007年10月 1日	第3種
新居浜工場製造課	2007年11月 8日	第2種
新居浜工場検査課・技術課・業務担当	2007年11月30日	第1種
鶴飼工場製造1課	2008年 2月28日	第1種

### 防災訓練

ヤスハラケミカルでは、工場ごとに爆発・火災、漏えい、地震等の緊急事態を想定した防災訓練を実施しています。写真は、2007年10月23日、新居浜工場で実施した大規模地震による油漏れの発生及び海洋への流出を想定したオイルフェンス展張訓練の様子です。



2007年10月23日 新居浜工場でのオイルフェンス展張訓練

### ISO9001 認証取得状況

ヤスハラケミカルでは、新居浜工場、高木工場（技術1部含む）、鶴飼工場（総領工場、技術2部含む）が、ISO9001を認証取得しており、2007年度も維持審査を受審し適合しました。

また2007年度は、高木工場の拡大として、福山工場の認証を取得しました。



## 地域社会への取り組み

### 地域清掃活動

ヤスハラケミカルでは、地域住民の皆様のご理解とご協力を大切にするため、各事業所において地域の方々との対話とふれあいを緊密にし、ふれあう機会を増やしていきたいと考えています。そうした活動の一環として、各事業所において近隣の皆様に感謝の気持ちを形で見せるため、定期的に各種清掃活動を行っています。



2007年10月12日 本社周辺清掃

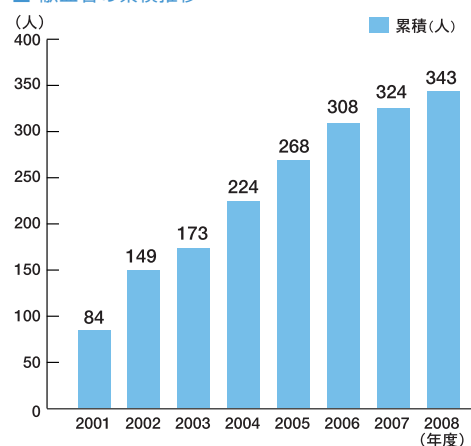
### 献血活動

ヤスハラケミカルでは、自主的な組織「ヤスハラケミカル献血会」を設け、従業員同士で献血参加を呼びかけています。輸血用血液の不足する春季及び秋季には、赤十字血液センターから事業所に献血バスを招き、多数の従業員が積極的な献血を行っています。



2008年6月11日 高木工場での献血活動

■ 献血者の累積推移



### 地元産業展示会への出展

ヤスハラケミカルでは、地域社会への貢献と広報活動を兼ねて、毎年5月に開催されます府中産業メッセへ出展し、事業内容の紹介をはじめ、原料や製品の特長、製品の用途などについてパネル展示やサンプル展示を行っています。

2008年の展示会では、当社製品の「D-リモネン」を使った風船滴下実験を行いました。実験は、「D-リモネン」の強い溶解力により風船が割れることを体験していただくのですが、ご来場の皆様からは、テルペンの持つ大きな力に驚きながらも興味や関心をお寄せいただけました。



「府中産業メッセ2008」出展ブース

## 従業員への取り組み

### 健康管理

ヤスハラケミカルでは、労働安全衛生法の定めに従い、有機溶剤健診などを含む健康診断を定期的実施しています（春季、秋季）。その結果、有所見者となった従業員については、結果通知時に専門医への受診やアドバイザーによる健康相談を受けることを指導しています。

また昨今急増しているメタボリック症候群については、安全衛生委員会等で社内に注意を促すとともに、産業医による衛生講話を開催するなど全社を挙げて対策に取り組んでいます。



2007年10月4日高木工場  
産業医による衛生講話「高脂血症はなぜ怖いのか」

### 育児・介護支援

少子高齢化など従業員を取巻く環境の変化に対応し、育児や介護支援に関するさまざまな制度を設けています。次の表はそのごく一部ですが、利用実績をご報告します。

制度	概要	2007年度利用実績
育児休業制度	子が1歳に達するまで	4名
育児短時間勤務	子が3歳未満の場合、勤務時間を9:00～16:30に短縮可能	2名
介護休業制度	介護が必要な家族1人につき通算93日まで	1名

